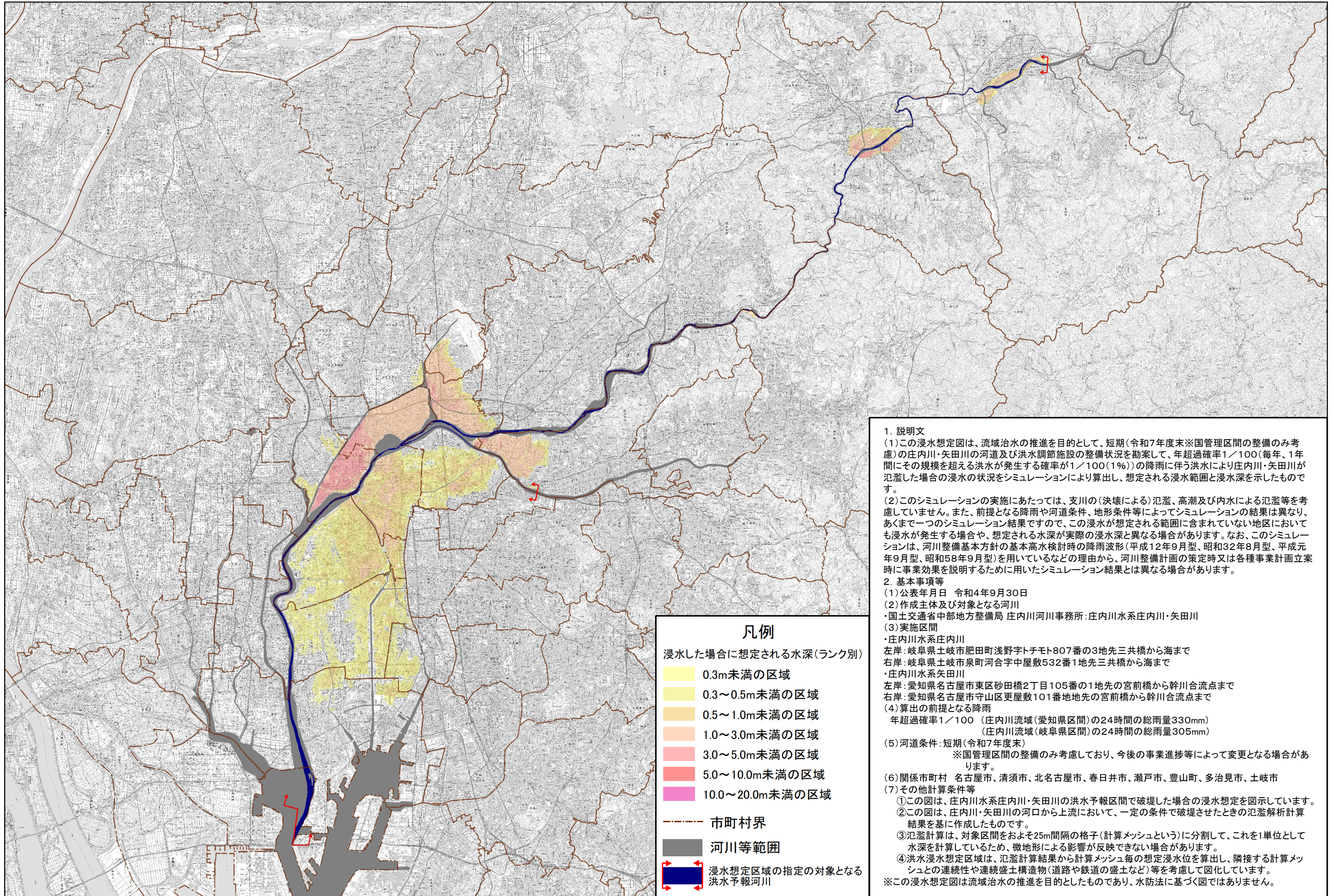
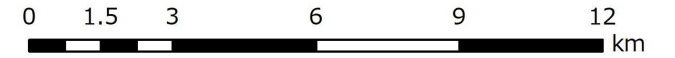


庄内川水系 国管理河川の浸水想定図(1/100規模降雨)

【短期河道】



1. 説明文

(1)この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、短期(令和7年度末※国管理区間の整備のみ考慮)の庄内川・矢田川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により庄内川・矢田川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出し、想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。

(2)このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水が想定される範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形(平成12年9月型、昭和32年8月型、平成元年9月型、昭和58年9月型)を用いているなどの理由から、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1)公表年月日 令和4年9月30日

(2)作成主体及び対象となる河川

- ・国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所:庄内川水系庄内川・矢田川
- (3)実施区間

 - ・庄内川水系庄内川
 - 左岸:岐阜県土岐市肥田町浅野字トチモト807番の3地先三共橋から海まで
 - 右岸:岐阜県土岐市泉町河合字中屋敷532番1地先三共橋から海まで
 - ・庄内川水系矢田川
 - 左岸:愛知県名古屋市中区砂田橋2丁目105番の1地先の宮前橋から幹川合流点まで
 - 右岸:愛知県名古屋守山区更屋敷101番地先の宮前橋から幹川合流点まで

(4)算出の前提となる降雨

- 年超過確率1/100 (庄内川流域(愛知県区間)の24時間の総雨量330mm)
- (庄内川流域(岐阜県区間)の24時間の総雨量305mm)

(5)河道条件:短期(令和7年度末)

- ※国管理区間の整備のみ考慮しており、今後の事業進捗等によって変更となる場合があります。

(6)関係市町村 名古屋市、清須市、北名古屋市、春日井市、瀬戸市、豊山町、多治見市、土岐市

(7)その他計算条件等

- ①この図は、庄内川水系庄内川・矢田川の洪水予報区間で破堤した場合の浸水想定を図示しています。
- ②この図は、庄内川・矢田川の河口から上流において、一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
- ③氾濫計算は、対象区間をおよそ25m間隔の格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。
- ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物(道路や鉄道の盛土など)等を考慮して図化しています。

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

0.3m未満の区域
0.3~0.5m未満の区域
0.5~1.0m未満の区域
1.0~3.0m未満の区域
3.0~5.0m未満の区域
5.0~10.0m未満の区域
10.0~20.0m未満の区域

--- 市町村界

■ 河川等範囲

■ 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川

「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R 4JHf 152」「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」
 「国土地理院の電子地形図25000『桑名』『飛鳥』『鳴海』『弥富』『蟹江』『名古屋南部』『津島』『清洲』『名古屋北部』『竹鼻』『一宮』『小牧』『知立』『豊田南部』『大沼町』『平針』『豊田北部』『足助』『瀬戸』『猿投山』『小渡』『高蔵寺』『多治見』『猿爪』『岐阜西部』『岐阜』『犬山』『小泉』『土岐』『瑞浪』を掲載」